

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【公表番号】特表2013-537193(P2013-537193A)

【公表日】平成25年9月30日(2013.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-053

【出願番号】特願2013-528244(P2013-528244)

【国際特許分類】

C 07 D 231/16	(2006.01)
C 07 D 261/18	(2006.01)
C 07 D 413/12	(2006.01)
C 07 D 417/12	(2006.01)
C 07 D 403/12	(2006.01)
C 07 D 233/90	(2006.01)
C 07 D 249/04	(2006.01)
A 61 K 31/496	(2006.01)
A 61 K 31/5355	(2006.01)
A 61 P 31/16	(2006.01)
A 61 P 31/12	(2006.01)

【F I】

C 07 D 231/16	
C 07 D 261/18	C S P
C 07 D 413/12	
C 07 D 417/12	
C 07 D 403/12	
C 07 D 233/90	A
C 07 D 249/04	5 0 6
A 61 K 31/496	
A 61 K 31/5355	
A 61 P 31/16	
A 61 P 31/12	

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月4日(2014.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

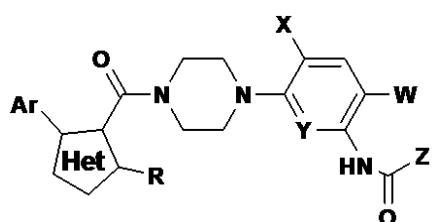
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I:

【化1】



(I)

[式中、

H e t は、 - Ar 基に隣接するか、または - Ar 基の結合点に隣接する - N、 - O または - S を有する 5 または 6 員ヘテロ環であり；

Ar は、アリールまたはヘテロアリールであり；

R は、 - CH₃、 - CH₂F または - CH = CH₂ であり；

W は、 - NO₂、 - Cl、 - Br、 - CHO、 - CH = CH₂ または - CN であり；

X は、 - Cl、 - CH₃ または - CN であり；

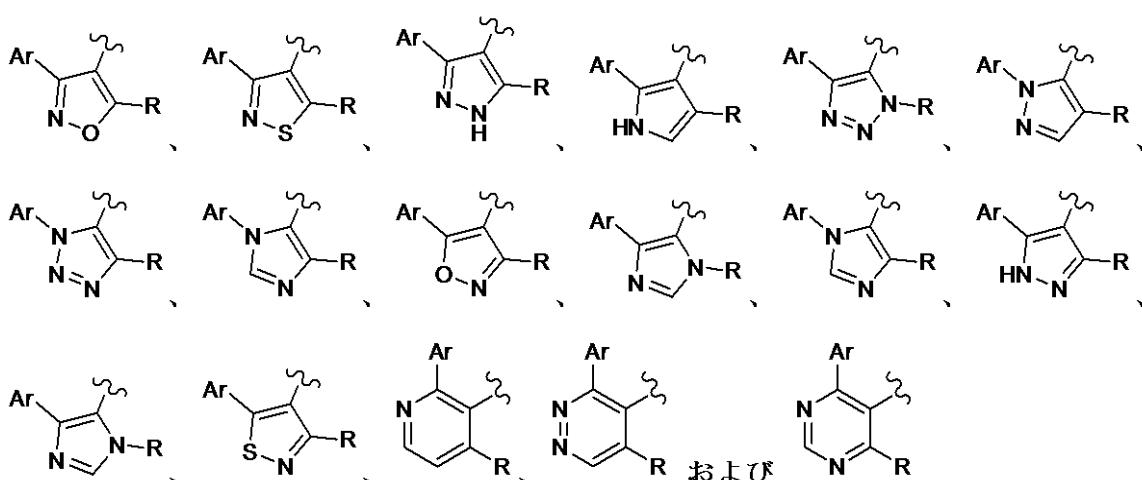
Y は、 - CH または - N であり；ならびに

Z は、 C₁ ~ C₆ アルキル、 C₃ ~ C₆ シクロアルキル、置換アリール、置換ヘテロアリール、 OR¹ または NH R¹ であって、 R¹ は、 H、アリール、ヘテロアリール、 C₁ ~ C₆ アルキルおよび C₃ ~ C₆ シクロアルキルの群から選択されるものである] の化合物またはその医薬的に許容される塩。

【請求項 2】

H e t が、

【化 2】



の群から選択されるものである、請求項 1 に記載の化合物。

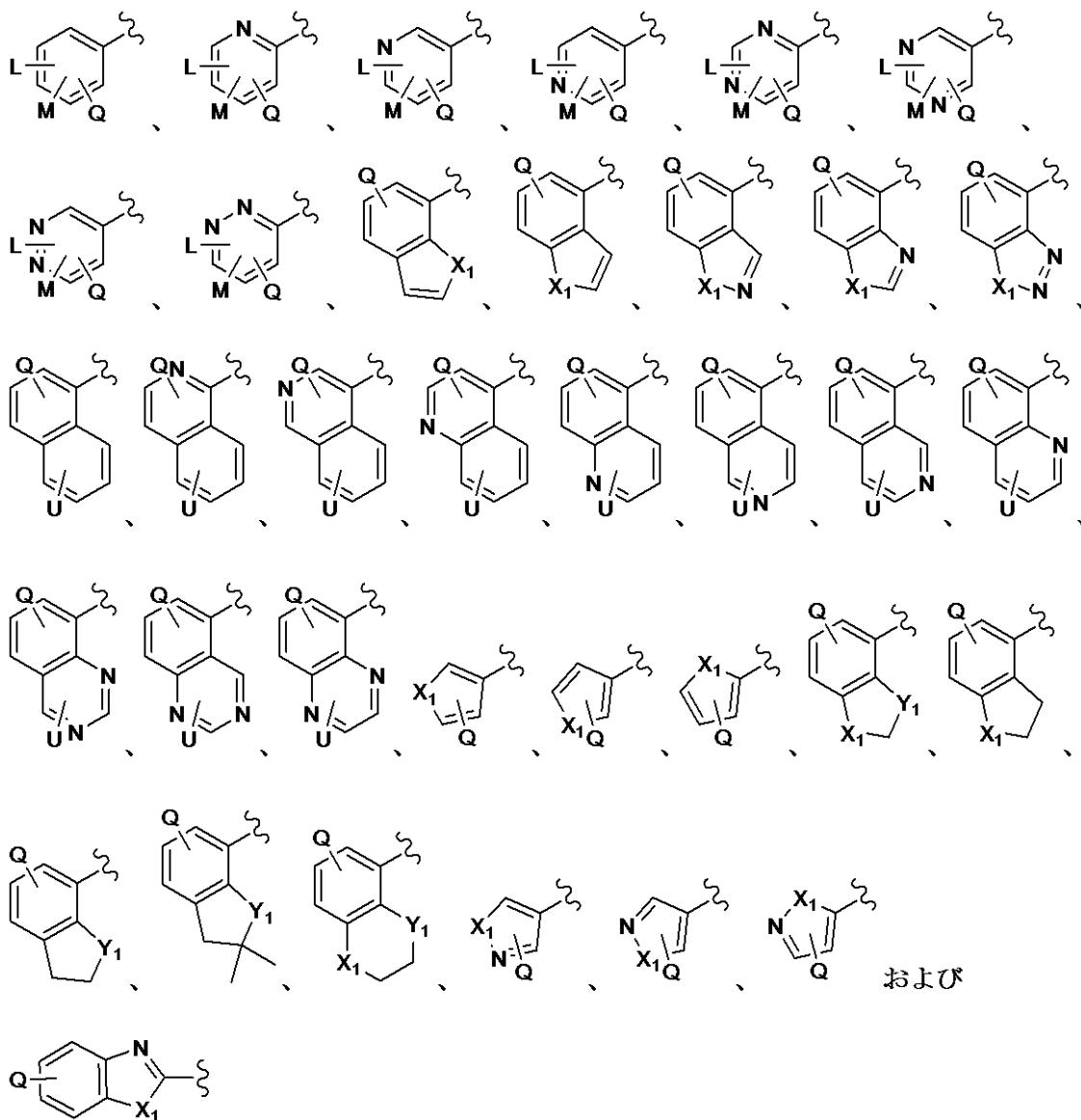
【請求項 3】

H e t が、 - Ar 基の結合点に隣接する - N を有する 5 または 6 員ヘテロ環である、請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

Ar が、

【化 3】



[式中、

Lは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

Mは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

Qは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

Uは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

X_1 は、O、NH、N-アルキル、N-アリール、S または CH_2 であり；ならびに

γ_1 は、O、NH、N-アルキル、N-アリール、S または CH_2 である]

の群から選択されるものである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項5】

Arが、フェニルである、請求項4に記載の化合物。

【請求項6】

Arが、メトキシまたはヒドロキシリで置換されたフェニルである、請求項5に記載の化合物。

【請求項 7】

W が、-NO₂、-Cl、-Br または-CN である、請求項1に記載の化合物。

【請求項 8】

X が、 - Cl または - CN である、請求項 1 に記載の化合物。

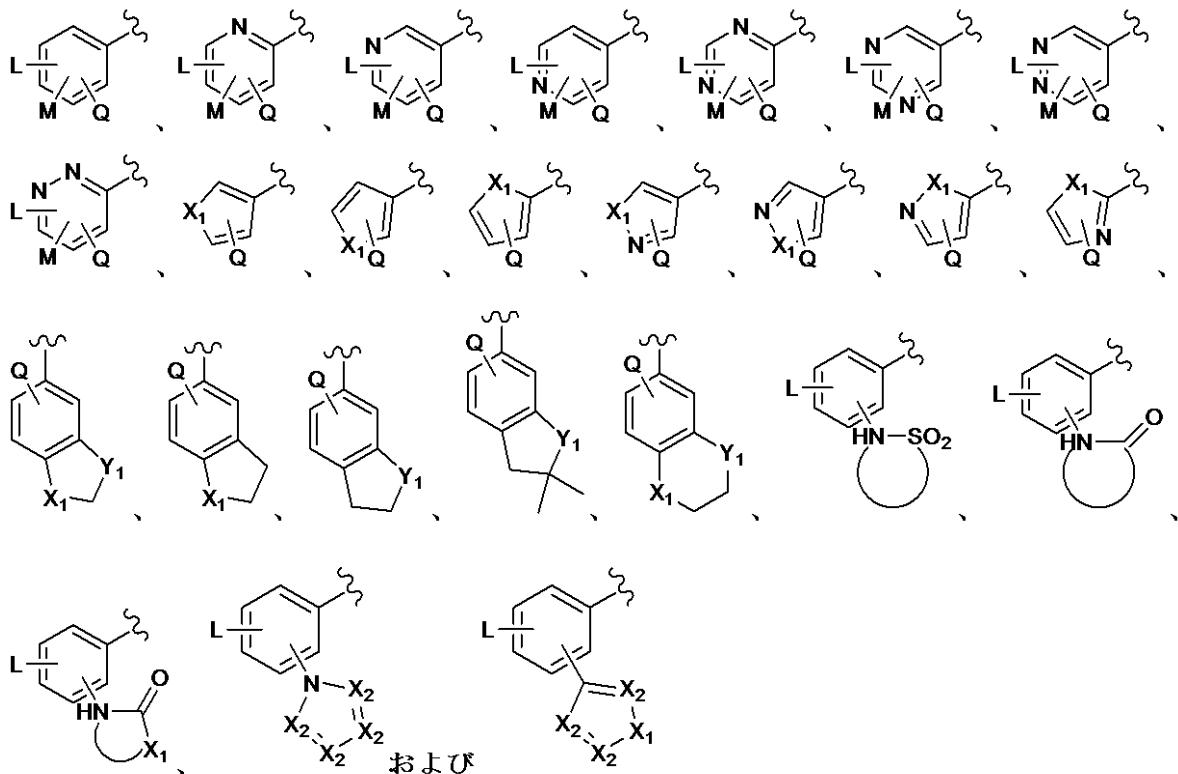
【請求項 9】

Yが、-CHまたは-Nであり、Arが、メトキシまたはヒドロキシリで置換されたフェニルである、請求項1に記載の化合物。

【請求項 10】

乙が、

【化 4】



[式中、

Lは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

Mは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり；

Qは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり：

Uは、H、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、アミノ、アルキル、アルコキシ、アルキルアミノまたはアミドであり：

X_1 は、O、NH、N-アルキル、N-アリール、S または C_6H_5 であり；

X_3 は、N または CH であり；ならびに

[Y₁は、O、NH、N-アルキル、N-アリール、SまたはCH₂である]

の群から選択される、置換アリールまたは置換ヘテロアリールである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 11】

Z が、置換フェニルである、請求項 10 に記載の化合物。

【請求項 1 2】

前記フェニルが、窒素含有成分で置換されている、請求項1.1に記載の化食物。

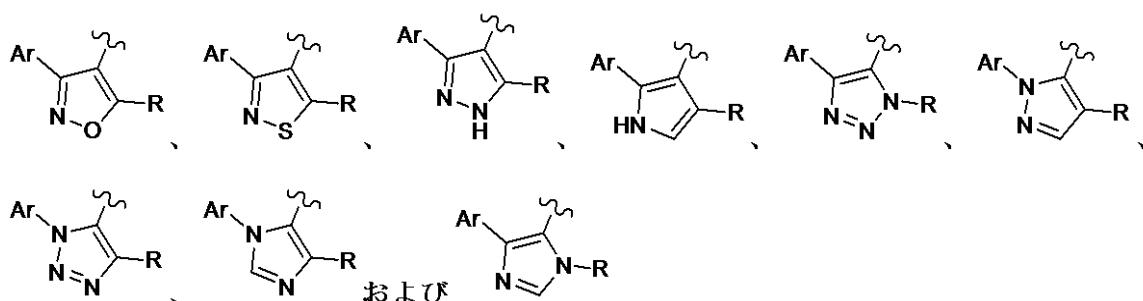
【請求項 13】

R が、-CH₃ または -CH₂F である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 1 4】

H e t が、

【化 5】

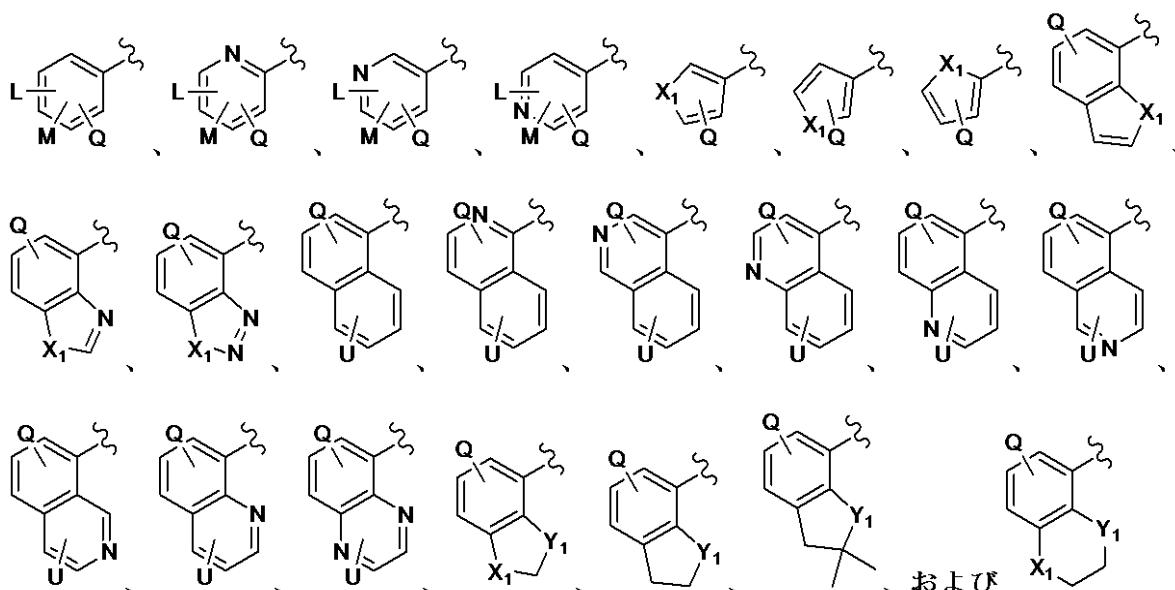


の群から選択されるものである、請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 1 5】

A r が、

【化 6】



の群から選択されるものである、請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 1 6】

W が、 - N O₂、 - C l または - B r である、請求項 7 に記載の化合物。

【請求項 1 7】

X が、 - C l である、請求項 8 に記載の化合物。

【請求項 1 8】

Y が、 - C H または - N である、請求項 9 に記載の化合物。

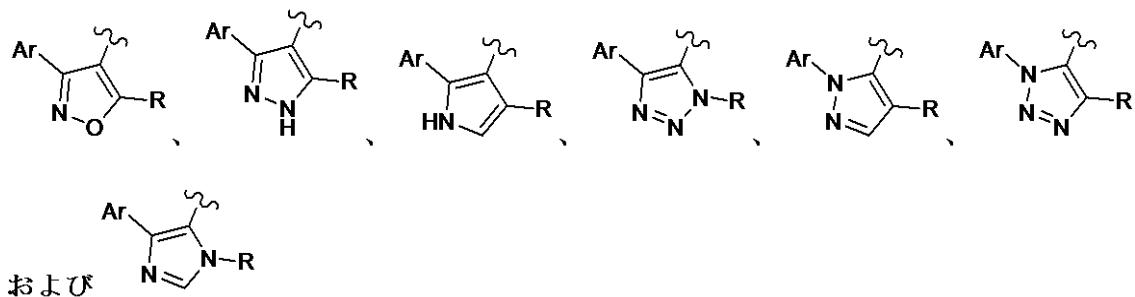
【請求項 1 9】

R が、 - C H₃ である、請求項 1 3 に記載の化合物。

【請求項 2 0】

H e t が、

【化7】

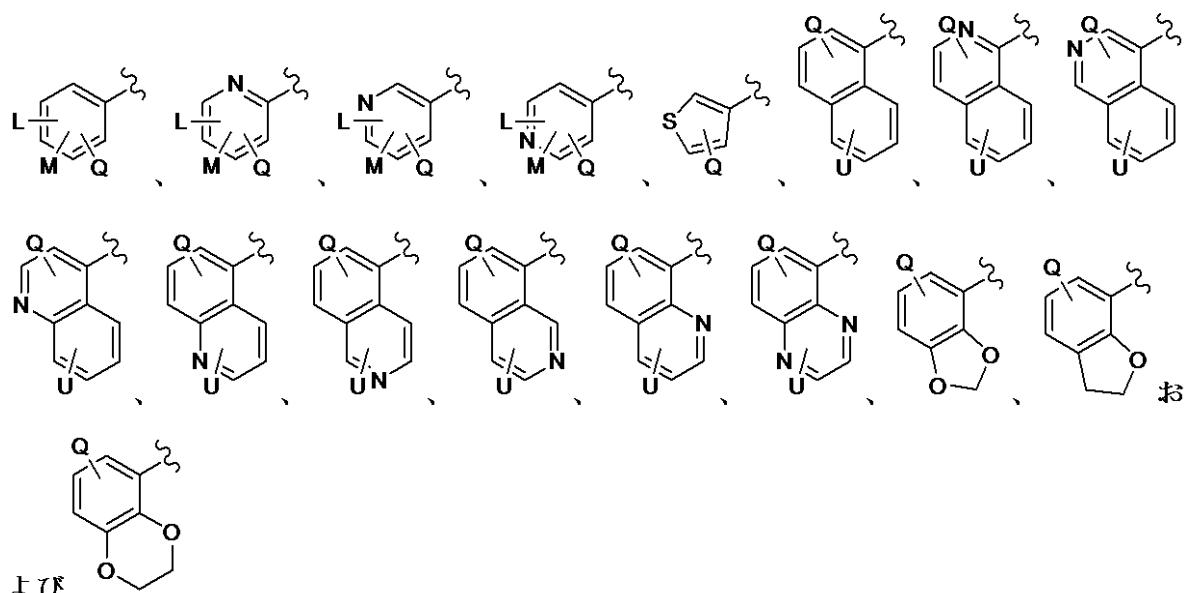


の群から選択されるものである、請求項1~4に記載の化合物。

【請求項21】

A_rが、

【化8】



の群から選択されるものである、請求項1~5に記載の化合物。

【請求項22】

A_rが、フェニルである、請求項21に記載の化合物。

【請求項23】

A_rが、メトキシまたはヒドロキシで置換されたフェニルである、請求項22に記載の化合物。

【請求項24】

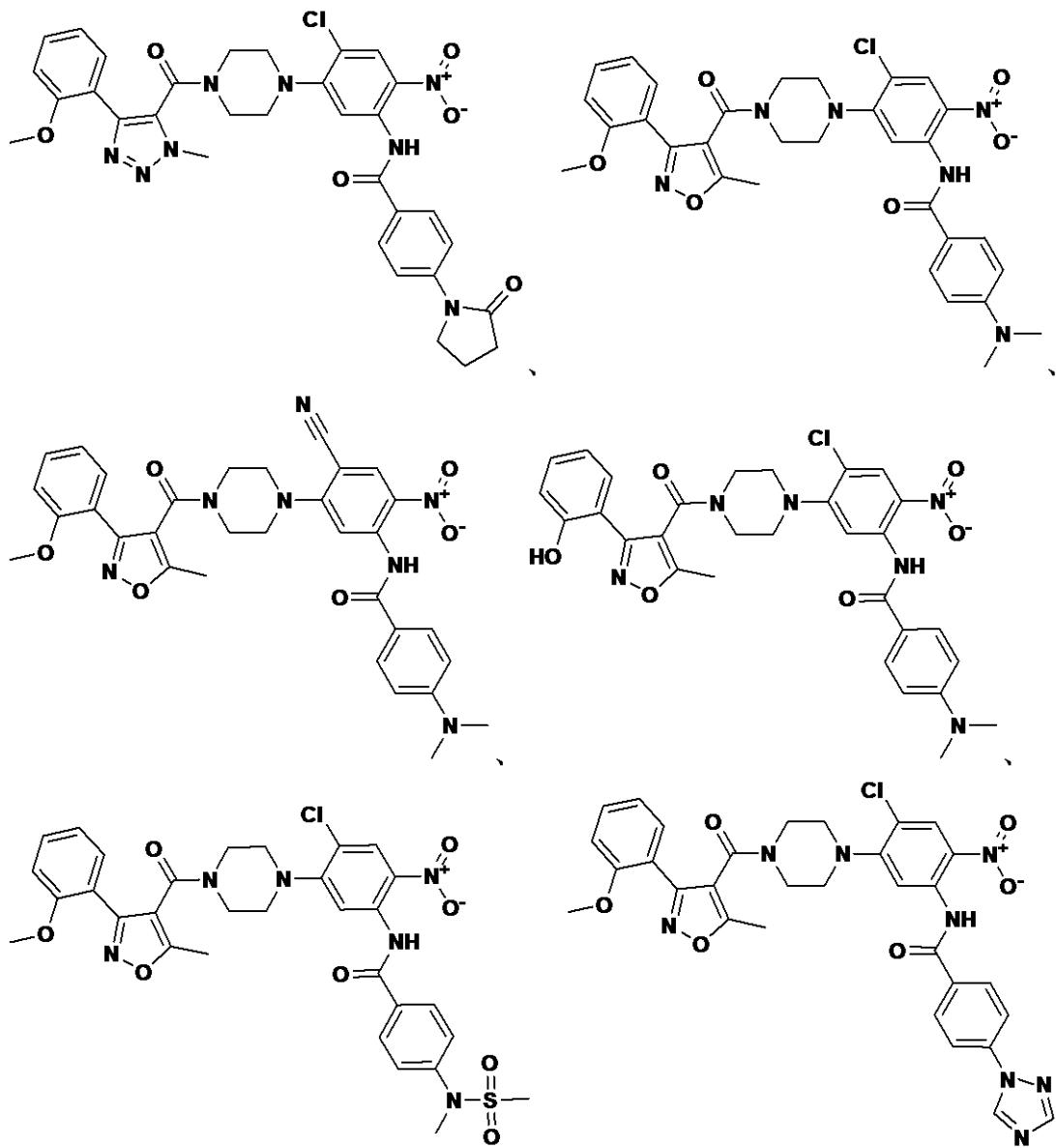
Wが、-NO₂または-B_rである、請求項1~6に記載の化合物。

【請求項25】

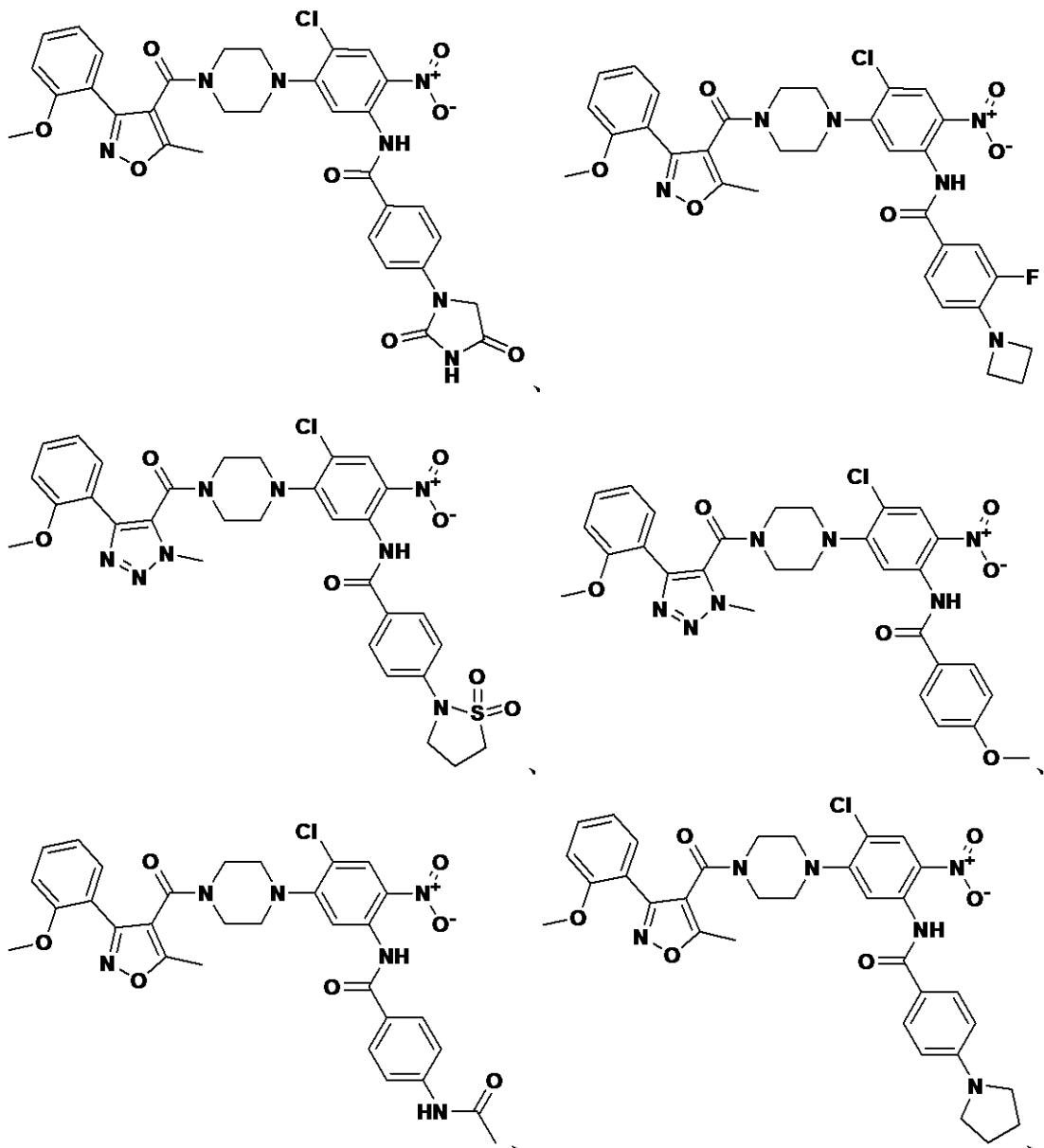
Yが、-CH₃である、請求項1~8に記載の化合物。

【請求項26】

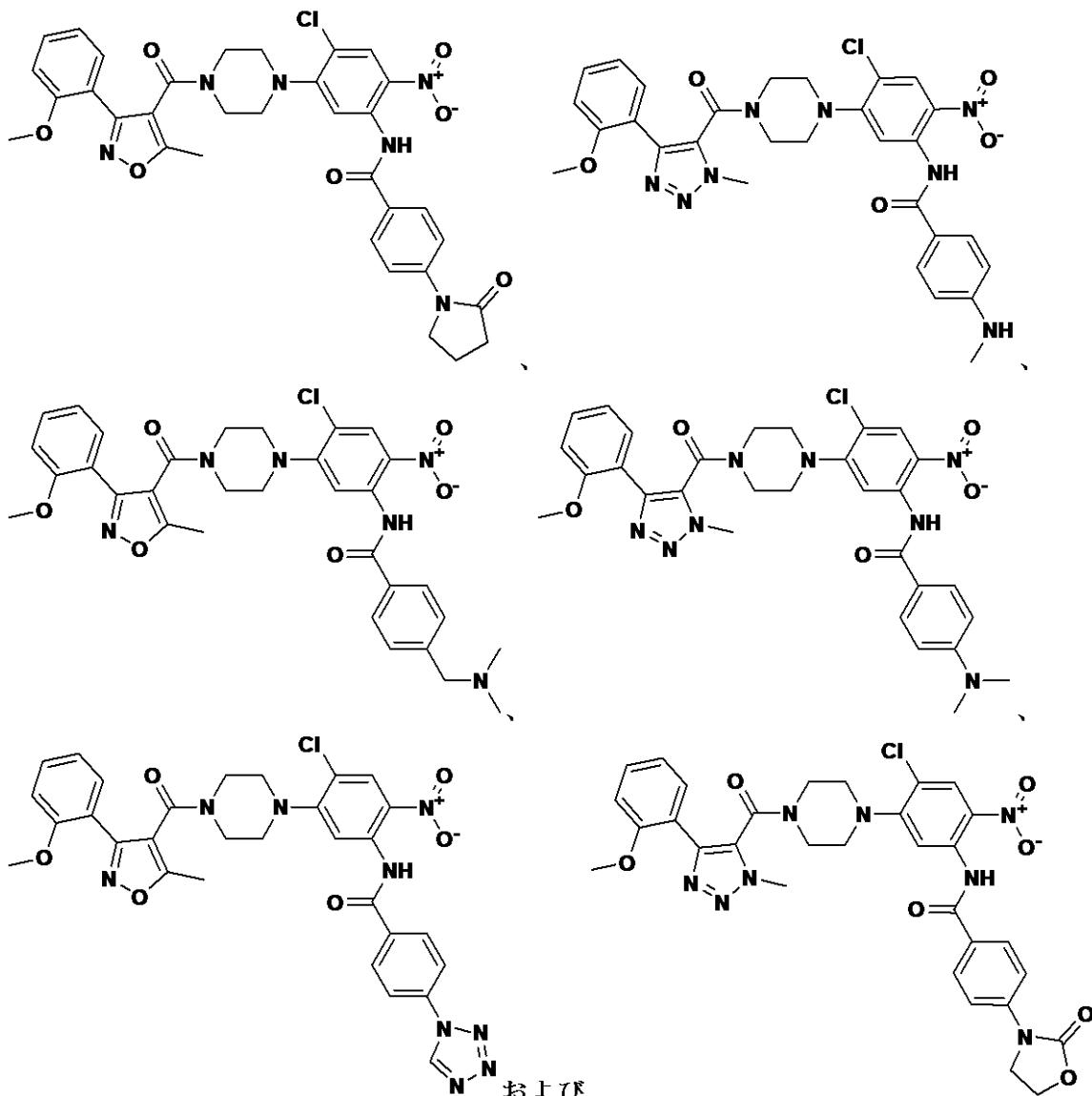
【化 9】



【化 10】



【化 11】



からなる群から選択される化合物。

【請求項 27】

抗ウイルス有効量の 1 つまたはそれ以上の請求項 1 ~ 26 のいずれか 1 項に記載の化合物を、1 つまたはそれ以上の医薬的に許容される担体、賦形剤または希釈剤と共に含む、医薬組成物。

【請求項 28】

請求項 1 ~ 26 のいずれか 1 項に記載の化合物および 1 つまたはそれ以上の医薬的に許容される担体、賦形剤または希釈剤を含む、インフルエンザウイルスに感染した哺乳類の治療剤。